

2017 年度事業報告

平成 29 年 度 事 業 報 告 書

(期間：2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

平成 29 年度は①啓発事業、②自立支援事業において活動の幅を広げることができた。特に、①啓発事業においては 1 年以上かけて取組んできた『ダイヤモンド白書』および『ブラッド・ダイヤモンド～ダイヤモンドをめぐるアンゴラの腐敗と苦悩～』が発行に至り、②自立支援事業においてはパイロットプロジェクトを実施するリベリアの村を選定するためのフォローアップ調査を進めることができた。また、今年度は、団体の組織基盤強化を念頭に様々な取り組みを行なった。主な事業内容は以下のとおりである。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア ウェブサイト、SNS、メールマガジンによる啓発活動

・内 容

日本語・英語ウェブサイトの充実を図った。今年度からの新たな取り組みとしては以下を行なっている。

➤ Facebook 広告を活用した広報強化

フォロワーの 3 倍以上の増加につながった。海外のフォロワーの増加も顕著であった。

➤ 「代表エッセイ」

村上代表理事によるエッセイ。国際協力・援助の仕事をするようになった経緯や当法人を立ち上げた理由などを、学生時代に遡りこれまでの経験を交え紹介している。

➤ 「英語ウェブサイトの再構築・コンテンツ強化による欧米圏支援者の獲得」

欧米の支援者の増大させるためのサイトの再構築とコンテンツ強化を進めている。当法人スタッフが英国の講師よりソーシャルマーケティングに関するオンライン講座を受講し、サイトの再構築とコンテンツ強に向けての第一段階として、ターゲット層（ペルソナ）の設定などを行なった。

・従事者人員 13 人

・日時 2017 年 4 月～2018 年 3 月

・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebook ページ、Twitter アカウントにアクセスする者及びメールマガジン受信者 のべ 150,586 人

・支出額 130,019 円

オンラインの媒体	投稿数/配信数	リーチ数（訪問数）	ウェブサイト 閲覧数(PV)数
日本語ウェブサイト	38	33,266	47,467
英語ウェブサイト	12	19,740	24,283

Facebook ページ	128	82, 850	
Twitter	69	11, 328	
メールマガジン	15	3, 402 (のべ購読者数)	
合計		150, 586	71, 750

イ 講演・講義活動

・内 容

今年度は企業、学校等での講演・講義の実施はなかったが、秋田大学国際資源学科の「アフリカの紛争と資源」短期集中コースにて、『手掘りダイヤモンド採掘労働者自立支援プロジェクト設計のための現地実態調査報告書』が教材として活用され、事例作成など授業づくりに協力した。

- ・日 時 2018年2月17日～20日
- ・場 所 秋田大学
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 受講者 13人
- ・支出額 0円



秋田大学での授業の様子

ウ イベント、勉強会の開催

・内 容

当法人の活動紹介・報告、ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発、情報発信。アフリカで活動する団体による経験や知見の共有。

- ・日 時 2017年4月～2018年2月
- ・場 所 各イベント実施先
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 参加者 約220人
- ・支出額 118, 802円

◆ 当法人主催イベント

#	開催日	イベント名	イベント主旨	主催	参加者数
1	2017/4/23	ダイヤモンドのふるさとから	リベリア手掘り採掘労働者現地調査報告	当法人	7名

◆ 外部イベント

#	開催日	イベント名・内容	主催	ブース来場者数
1	2017/7/8	「国際協力人材セミナー」 ブース出展	JICA	約100名
2	2017/10/9	「よこはま国際フェスタ2017」 ブース出展	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム 運営事務局	約90名
3	2018/2/4	「よこはま国際フォーラム」 ブース出展、セミナー開催	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム 運営事務局	17名 (セミナー参加者数)
			小計	207名



「ダイヤモンドのふるさとから」



「国際協力人材セミナー」



「よこは国際フェスタ」



「よこはま国際フォーラム」

エ キャンペーン活動

・内 容

2015年度から実施してきた、アンゴラ裁判所から有罪判決を受けたジャーナリストの

判決取り消しを求める署名活動、「ジャーナリストへの有罪判決の取り消しを！～アンゴラのダイヤモンドの不都合な真実を暴き有罪判決を受けた、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏に対する判決取り下げを求めます～」が 1000 筆に達したため終了した。最終的には世界 42 カ国より 1016 筆が集まった。署名はアンゴラ大統領宛の公開書簡と共に、在日アンゴラ大使館に提出した。

- ・日 時 2017 年 4 月～2017 年 10 月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 直接受益者：ラファエル・マルケス・デ・モライス氏及びモライス氏への有罪判決取り消しに従事している者 約 30 人
間接受益者：署名者 1016 名
- ・支出額 510 円

オ 『ブラッド・ダイヤモンド～ダイヤモンドをめぐるアンゴラの腐敗と苦悩～』 翻訳プロジェクト

・内 容

世界第 4 位のダイヤモンド産出国であるアンゴラのダイヤモンド採掘地域で行われた拷問500件、殺人100件の証拠を集めた書籍「Blood Diamond -Corruption and Torture in Angola」の日本語版発刊のための翻訳プロジェクト。昨年度よりDFP のボランティア 8 名からなる翻訳プロジェクトチームを結成し、156ページにおよぶ翻訳に取り組み、2017 年7月に発刊。当法人ウェブサイトにてPDFにて掲載し、またイベント等では印刷版の配布をおこなった。本書は、アンゴラ国内の採掘現場における政府・軍関係者、民間警備会社によるダイヤモンド採掘労働者や地域住民への暴力や殺人、人権侵害についての実話であり、日本においてダイヤモンド取り巻く課題について広く啓発するツールとなることを目的としている。

- ・日 時 2017 年 4 月～2017 年 7 月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 8 人
- ・受益対象者 直接受益者 読者 約 100 名
間接受益者：アンゴラ北部で手掘りダイヤモンド採掘労働に従事する者 約 10 万人
- ・支出額 12,142 円

カ 「ダイヤモンドの課題に関する意識調査」

・内 容

- 1) ダイヤモンド製品を扱う、ブランド及び販売企業に対する意識調査
全国のダイヤモンド製品を扱う、ブランド及び販売企業、117 社に書面にてダイヤモンドの人道・環境配慮に関するアンケート調査を実施。10 社より返答を得た。
- 2) ダイヤモンド製品を扱うブランドショップでの覆面調査
東京、ロンドン、サンディエゴにおいて、22 のブランドショップの店頭におい

て、覆面調査を実施。婚約指輪などのダイヤモンド製品の産出国や紛争ダイヤモンドを扱っていないかなどの質問を店員に行なった。

3) 一般消費者を対象としたインターネット意識調査準備

インターネット調査会社通して行なった一般市民を対象としたアンケート調査。全国の20-60代の男女1,102人から回答を得た。

調査から、消費者および販売企業のダイヤモンド課題への認識、販売企業のキンバリープロセス認証制度に対する認識などについて確認できた。この結果を今後の当団体の啓発活動に役立てていく予定である。

調査結果は『ダイヤモンド白書』としてとりまとめ、当法人ウェブサイトにてPDFにて掲載している。英語版も発刊予定である。

- ・日 時 2017年4月～2018年3月
- ・場 所 当法人事務所および調査場所
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 直接受益者：国内外の「ダイヤモンド白書」の読者 約100名
間接受益者：以下の調査協力者
書面調査対象企業 117社、覆面調査対象店舗 22店舗
インターネット意識調査対象者 1,102人
- ・支出額 108,324円



② 自立支援事業

ア ダイヤモンド零細採掘労働者自立支援プロジェクト実施に向けての現地調査結果報告書作成

・内 容

昨年度実施した現地調査結果をとりまとめた報告書、『リベリア手掘りダイヤモンド採掘労働者実態調査報告書』を発行した（和英）。手掘りダイヤモンド採掘労働者とその家族の現状と実態を知ることができる貴重な資料であり、上述の通り、教材としての活用もされている。当法人ウェブサイトにてPDFにて掲載すると共に、イベン等では印刷版を配布した。調査結果は今後の自立支援プロジェクトに活かしていく予定である。

- ・日 時 2017年4月～2017年5月
- ・場 所 当法人事務所およびリベリア共和国
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 直接受益者：国内外の報告書の読者 約100人
間接受益者：プロジェクト対象地の採掘労働者とその家族、現地関係機関の者等約100人
- ・支出額 21,823円

イ ダイヤモンド零細採掘労働者自立支援プロジェクト実施に向けてのフォローアップ調査および準備

・内 容

2017年夏から、プロジェクトの候補村として挙げた4村（ゴンドーダウン村、メイボン・ジンベク村、ウィズア村、ベレパラム村）の現状調査、手掘りダイヤモンド採掘関係者との信頼関係構築、関係者のプロジェクトへの理解促進を図り、プロジェクト案を精緻化してきた。その過程では、本プロジェクトが当法人の労働者への一方的な支援ではなく、労働者の自助・共助による自立支援であることへの理解を得ることが難しく、この点に多くの時間と労力を費やした。また、労働者がダイヤモンドを採掘しても十分な報酬を得られず、貧困から抜け出せない原因や現状、採掘労働者の貧困がダイヤモンドの密輸を誘発し、紛争やテロの資金源となる問題を生み出している恐れなど、多くの課題が判明した。今後は、2018年度初頭に当法人が策定した選定基準のもと、4村の状況、成功確率、リスク等を数値化し比較検証し、対象村を選定する。その後は対象村の手掘りダイヤモンド採掘労働者を対象に、1) 組織化、チームワーク、民主主義、人権、リーダーシップ等の基礎研修、2) 効率的な副業（養蜂）の研修、などを実施していく予定である。

また、プロジェクトの効率的・迅速的な実施のため、リベリア現地法人の事務所整備なども行なった。

- ・日 時 2017年4月～2018年3月
- ・場 所 当法人事務所およびリベリア共和国
- ・従事者人員 4人

- ・受益対象者 プロジェクト対象地の採掘労働者とその家族、現地関係機関の者等
約 100 人
- ・支出額 382,952 円



③管理部門に関する事業

ア 団体の組織基盤整備・強化学業

・内 容

今年度は運営スタッフ（理事）、ボランティアで団体の組織基盤整備・強化に向けた様々な検討と取り組みを行なった。主な取り組みは以下の通り。

- 1) 今後の事業計画・資金調達計画策定
外部の専門家の支援を受け、理事が中心となり、今後 5 年間の事業および資金調達に関する中期計画を策定した。
- 2) 団体のガバナンス、経理面の基盤強化
認定 NPO 法人振興会に入会し認定診断を受診し、認定申請に向けての組織体制、団体のガバナンスに関わる規則・細則が準備できているかの確認と改善点への指導を受けた。また、ガバナンス、経理体制強化のために必要な業務のマニュアル化・確認体制を整備した。
- 3) ファンドレイジング研修の受講およびファンドレイジング・日本 2018 への参加
今後の当法人のファンドレイジングについて検討するための知識と情報収集のため、理事 1 名が受講、参加した。

- ・日 時 2017 年 4 月～2018 年 3 月
- ・場 所 当法人事務所および各会議・会合開催場所

- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 当法人の活動に関わる運営スタッフ、ボランティア 約40人
- ・支出額 213,840円